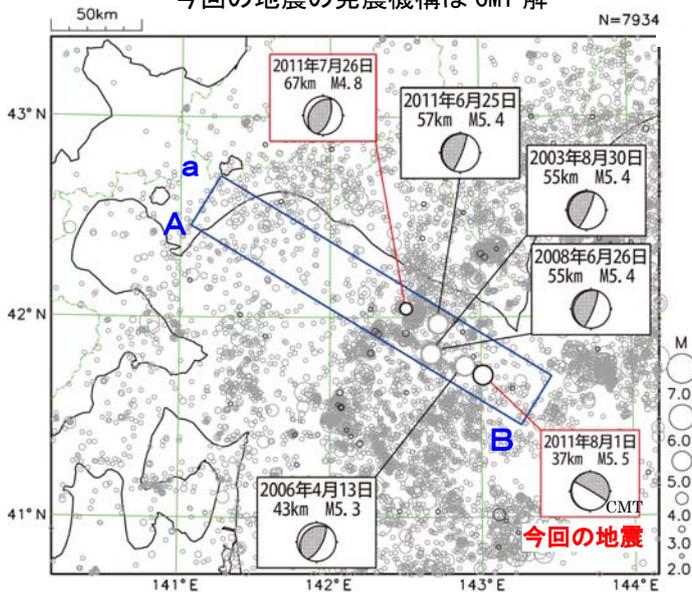


# 8月1日 浦河沖の地震

震央分布図(2001年10月1日~2011年8月1日、  
深さ0~150km、 $M \geq 2.0$ )

2011年07月以降の地震を濃く表示  
今回の地震の発震機構はCMT解

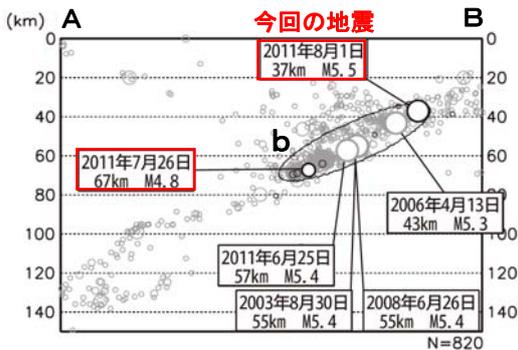


2011年8月1日02時36分に浦河沖の深さ37kmでM5.5の地震(最大震度4)が発生した。この地震の発震機構は、北東-南西方向に張力軸を持つ型(CMT解)であり、左図で吹き出しを付けた他の地震とは異なっている。また、同日03時45分にはほぼ同じ場所でM3.5(最大震度1)の余震が発生した。

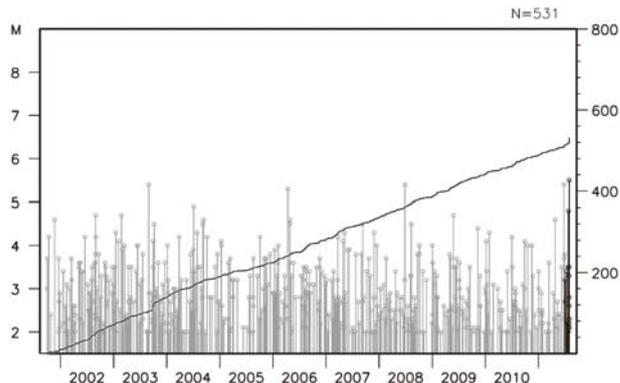
この地震の震央から北西約50kmでは、7月26日07時58分にM4.8の地震(深さ67km、最大震度3)が発生している。この地震の発震機構は西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した地震である。

2001年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近(領域b)では、2011年6月25日にM5.4の地震が発生するなど、M5.0以上の地震が時々発生している。

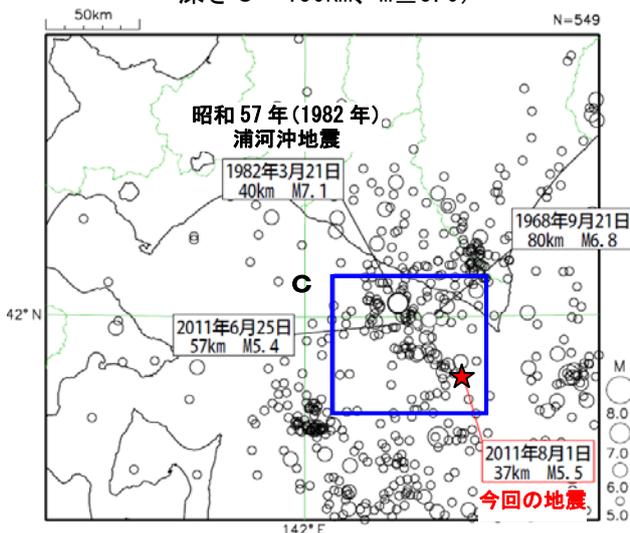
領域a内の断面図(A-B投影)



領域b内の地震活動経過図及び回数積算図

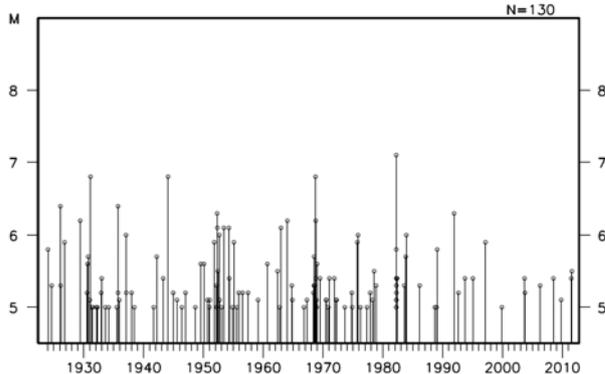


震央分布図  
(1923年8月1日~2011年8月1日、  
深さ0~150km、 $M \geq 5.0$ )



1923年8月以降の活動のうち、今回の地震の震央付近(領域c)で発生した「昭和57年(1982年)浦河沖地震」(M7.1、最大震度6)では、負傷者167人、建物全半壊25棟の被害が生じたほか(「最新版 日本被害地震総覧」による)、北海道から東北地方の太平洋岸で津波を観測した(津波の最大の高さ: 浦河78cm(検潮記録))。

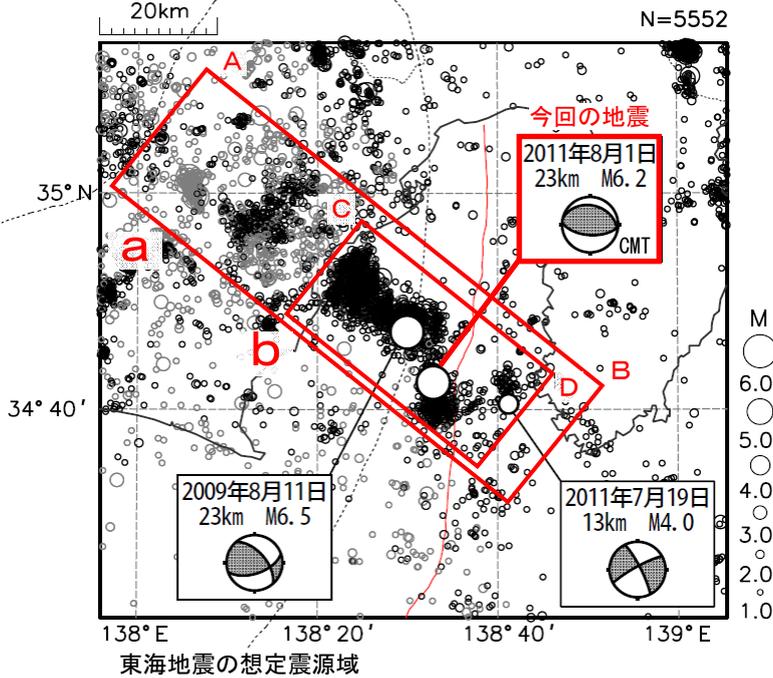
領域c内の地震活動経過図



# 8月1日 駿河湾の地震

震央分布図 (1997年10月1日~2011年8月2日、 $M \geq 1.0$ 、深さ0~50km)

深さ25km以浅の地震を濃く、それより深い地震を薄く表示。

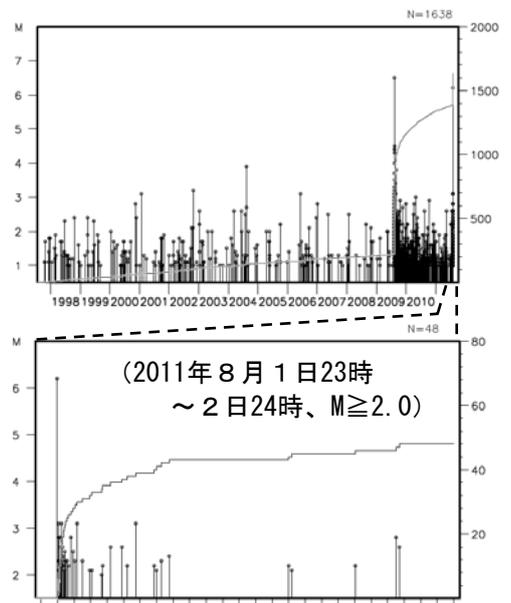


8月1日23時58分に駿河湾の深さ23kmでM6.2の地震(最大震度5弱)が発生した。この地震の発震機構(CMT解)は南北方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレート内で発生した地震である。震度1を観測した余震が4回発生したが、余震活動は徐々に収まりつつある。

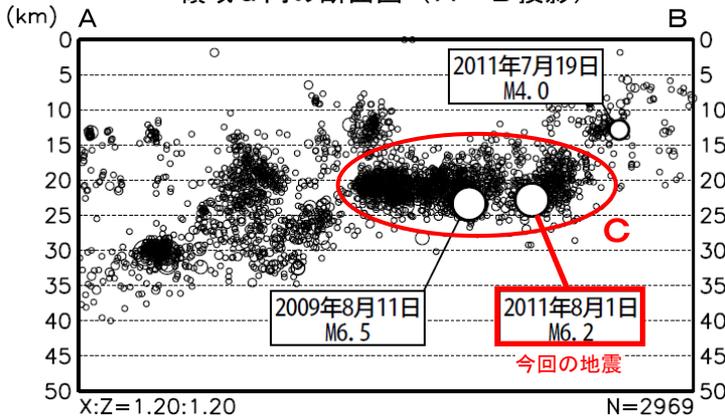
1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近(領域b)では、2009年8月11日にM6.5の地震(最大震度6弱)が発生し、死者1人、負傷者319人等の被害が生じた。

1923年8月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域d)では、M6.0以上の地震が時々発生している。

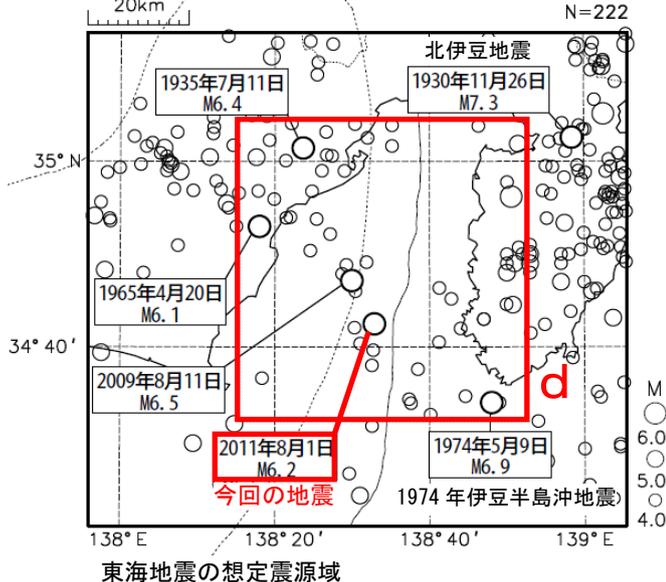
領域c内の地震活動経過図、回数積算図



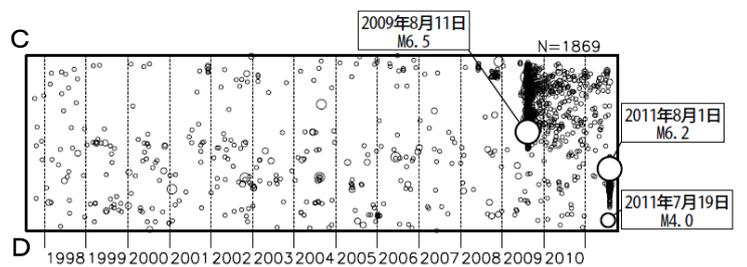
領域a内の断面図 (A-B投影)



震央分布図 (1923年8月1日~2011年8月2日、 $M \geq 4.0$ 、深さ0~50km)



領域b内の時空間分布図 (C-D投影)



領域d内の地震活動経過図

